

対立で議長決まらず

倉吉市議会 28年ぶり異例事態

倉吉市議会（定員17人）は23日、改選後初の臨時会を開いたが、予定していた議長選挙を実施できず、議長を決められなかった。改選後の議会初日に議長が決まらないのは異例で、同市議会でも1985年以来、28年ぶり。議長選には複数の議員が立候補する意思を示し、多数派工作を展開。2候補が同数で並び、抽選で決着する可能性が浮上したが、一方のグループが相手グループの候補について、今議長選で信頼を損なう行為があり、同候補が議長になった場合、今後の議会運営に支障が出るとして強く反対した。

が、年長者の議員が務め、議長選は議会最終日に行われる予定。24日は休会日のため、議長選は議会の最終日に再開したが、会期を25日まで3日間と

記者の手帳

高い志は忘れてしまったのか

「倉吉市議会は荒れすぎ、市民にも迷惑を掛ける」と聞いてはいたが、とが分かるはずだが、そこまで改選後初めての議会初ポストが欲しかったのだろうか。日頃から紛糾した。原因か。この議員も選挙期間中には議長の高志を忘れてしまったのか。希望と安心を狙った1議員の「謀略」。前日には心を「高い志を示していた。対立グループの会派に入会届を、それをすべて忘れたかのような出していたが、裏切ったという。行為。ほかの市議にも失礼で、信頼を損ねれば議会運営でつま 残念だ。」

（市民に）

（荒木）

- 【中野本社】表敬あいさつ 森下洋一氏（鳥取県中部森林組合組合長）植田圭子氏（同管理部長）安田秀昭氏（上灘公民館長）岡本広美氏（上北条公民館長）
- 【西部本社】新任あいさつ 母里誠一氏（創価学会鳥取県事務所広報部長）
- 表敬あいさつ 長谷川明洋氏（上淀白鳳の丘展示館副館長）古田守氏（スズキ自販鳥取本社営業部直販責任者CS部長）三原久伸氏（エヌ・アイ・シー常務）鳥飼賢治氏（創価学会鳥取県事務所局長）遠藤和博氏（安来市消防本部消防庁舎建設推進室主任）遠藤仁督氏（随筆家）

近景遠望

「無沙汰は無事の便り」だが、倉吉市議会から「便り」が届いた。相変わらず元氣、で何よりだ。「議会の常識は世間の非常識」という言葉がある。ポストの駆け引き、だまし、だまされは政治の舞台裏。今回の議長選をめぐる騒動の内情をみると「議会の常識ですら吹っ飛び事態が重なったようだ。人間不信になった議員もいるとか、いないとか。いずれにしても、きょうの臨時会で新しい正副議長が決まる。正常化か、もう一波乱か。次の便りを待つ。」

（和）

近景遠望

今、わが市で高校生3人が職場体験している。最終日までにそれぞれに記事を執筆してもらうことにしており、今から出来が楽しみだ。取材現場を知ってもらおうと、改選後初となる倉吉市議会に出かけた。だが、ここで出くわしたのが同市議会恒例の「暫時休憩」。正議長選出をめぐる話し合いは控え室に持ち込まれ、あちこちで「そこそこ」で「ぶつぶつ」。いつものことながら閉口する。3人に感想を聞いてみた。「休憩が長すぎる。」（もっとも）

（倉）